



まいばら

# まんすりーれぽーて



## 青少年読書感想文全国コンクールで 双葉中学校3年生面川美貴さんが入賞

第60回青少年読書感想文全国コンクールで、面川美貴さんの作品が全国学校図書館協議会長賞（優良賞）に選ばれました。

面川さんが読んだのは「青い鳥」（重松清・著）。主人公である非常勤講師の村内先生は、独自の世界観で生徒と正面から向き合い本当に大事な事を教えていきます。この本を読んで「うまく話せなくても大事な事が伝わればいい」と村内先生から学んだ」と面川さんは話してくれました。

また、面川さんは普段から本が好きで、受験を終えた今は、お気に入りの作家である重松清の小説など、週に2冊の本を読んでいると教えてくれました。

4月から高校生活を送る面川さんは「部活も勉強も頑張りたい」と話してくれました。



## 特色ある学校づくり支援事業 プレゼンテーション審査会（3月10日）

「米原市特色ある学校づくり支援事業」のプレゼンテーション審査会が人権総合センターS・Cプラザで行われ、市内全小中学校の校長らが平成27年度の事業計画を発表しました。

この事業は、小規模校の良さを生かし、より充実した教育活動を展開することを目的に行われ、平成26年度は、体力づくりの一環としてスポーツ選手を招く体験授業や地域の学習支援パートナーによる放課後学習などが行われました。

この日の審査の結果に基づき、平成27年度には地域の方との交流や小中学校が連携した取組などが各学校で展開される予定です。



## 市政言



平成27年度市政が動き始めます。キーワードは「地方創生」です。国は、内閣総理大臣を本部長に「まち・ひと・しごと創生本部」を立ち上げ、人口減少、少子化問題に立ち向かう強い姿勢を示しています。

地方創生の現場は地方自治体であり、市のトップとして、私はこのチャンスを生かし、国との連携を密にして、地域の実情を解決する政策の推進で、成果を得たいと思います。

国の政策目標には「地方が成長する活力を取り戻す」「人口減少を克服する」「国民が安心して働き、希望どおり結婚して子育てができる」「将来に夢や希望を持つことができる」「魅力あふれる地方を創生する」「地方への人の流れをつくる」と掲げられています。

私は、これを米原市民の暮らしや地域の未来展望に位置付けること、特に若い人たちの願いや希望を実現することが求められていると考えています。

地方創生が国だけの動きで止まってはなりません。地方に、米原市に、地域に、何より市民のみなさんの暮らしに手ごたえを感じてもらえる新年度市政をスタートさせます。市民のみなさんも「今、自分に何が出来るだろうか」という気持ちで、のぞんでいただきたいと思います。

私たちには、次の世代に確かな未来をつないでいく責任と使命があります。私も職員の先頭に立って、市民のみなさんとともに、歩を進めます。叱咤激励よろしく願います。



米原市長 平尾道輝